北海道の農業は どんなところが特別なの？

それぞれのエリアで、土地や気象条件に合わせた作物を育てています。

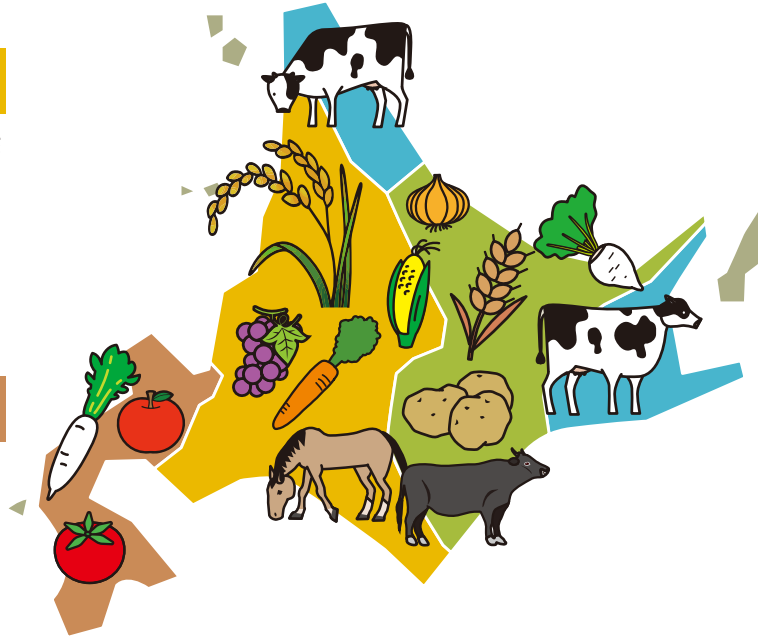
北海道は、東から西、南から北までとても広い場所です。だから、夏は暑い所・冬に雪がたくさん降る所など場所によって天気がちがいます。それぞれの場所の特長をうまく使って、農業をしています。

道央エリア

北海道でできるお米のほとんど（9割）が作られています。
野菜や花もたくさん作られています。
肉になる牛や競走馬を育てる牧場もあります。

道南エリア

温かい気候に恵まれ、お米のほか、
トマトやほうれんそうなどの野菜、
りんごやぶどうなどの果実を作っています。



道東（酪農）エリア／道北エリア

夏でもあまり気温が上がらないので、お米や野菜はあまり育ちませんが、広い大地と涼しい気候をいかして、牛や牛のエサになる草を育て、牛乳を搾る日本最大の酪農地帯です。

道東（畑作）エリア

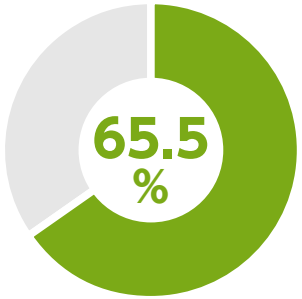
広い土地をいかして小麦や豆類をはじめ、じゃがいも、てん菜、たまねぎ、ながいもなどが生産される、規模の大きい畑作地帯です。

Q 北海道が生産量1位の農産物を いくつ知っていますか？

A 生産量が1位の農産物がたくさんあります。

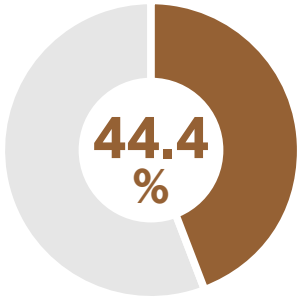
生産量が全国1位の主な農産物 ※令和5年度

【小麦】



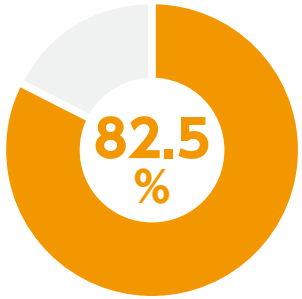
北海道 71.7万トン
全　国 109.4万トン

【大豆】



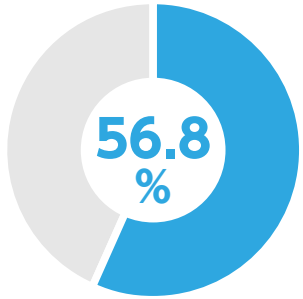
北海道 11.6万トン
全　国 26.1万トン

【じゃがいも】



北海道 193.0万トン
全　国 234.0万トン

【牛乳】



北海道 414.7万トン
全　国 729.9万トン

Q 北海道の食料自給率はどれくらい？

A 北海道の食料自給率は全国1位です。

北海道の食料自給率（カロリーベース）

※食料自給率都道府県順位/令和4年度

順位	1位	2位	3位	4位	5位	
カロリーベース	**北海道 218**	秋田県 196	山形県 145	新潟県 117	青森県 116	全国 38

食料自給率（カロリーベース）とは？

食料自給率とは、「日本で食べる食べ物のうち、どれだけを日本で作っているか」をあらわす数字のことです。下の式で計算します。

食料自給率 ＝ 1人1日当たり国産供給熱量 ÷ 1人1日当たり供給熱量

1戸あたりの農地面積

農地面積とは、野菜や米などを育てるために使う畑や田んぼの広さのことです。
北海道は、ほかの県と比べて約14倍の広さがあります。

1戸あたりの畑や田んぼの広さ		
北海道（A）	都府県（B）	（A）/（B）
34.1 ha	2.5 ha	**13.5** 倍

※令和6年度

しかし、農家（農業経営体数）は年々減少…

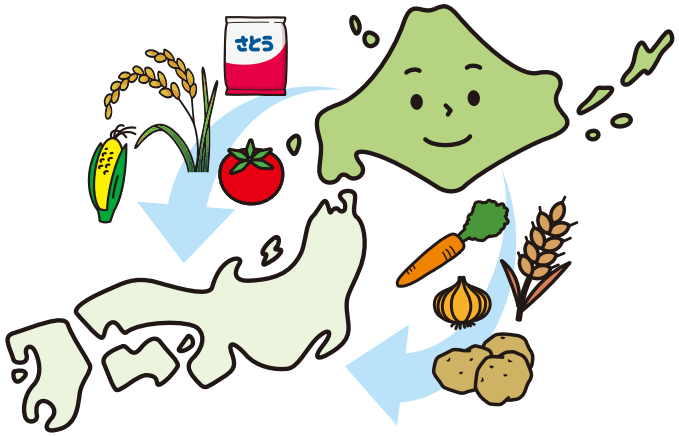
Q 農業と関係する仕事を知っていますか?

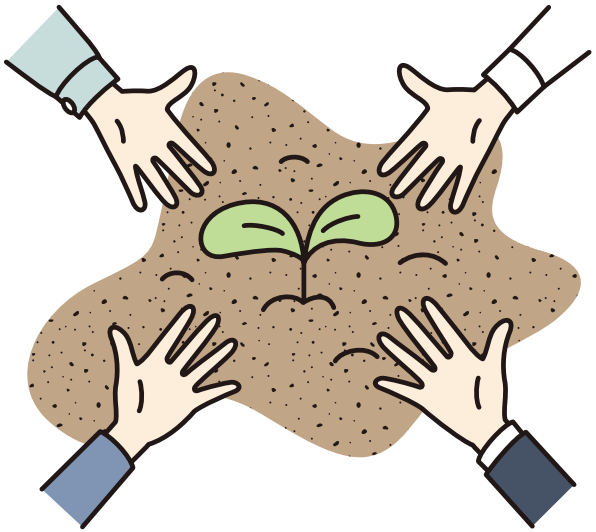
A 農業は、さまざまな業種と幅広く関わっています。

みなさんに聞きたいこと

Q1

北海道では、農家が減少しており、
今後、北海道の日本の食を支える力が
弱くなってしまうことが心配されますが、
北海道が日本の食料供給地域であり続け
るために、何が必要だと思いますか?



Q2

みなさんは、今後、北海道農業に
どのように関わって（応援して）
いきたいですか?